

ふくい街角景気速報

(令和4年6月分)

調査期間 令和4年6月20日～27日 (回答率：97%)

概況

景気の現状判断DIは50.0となり、前月と比べ1.8ポイント低下した。

景気の先行き判断DIは48.2となり、前月と比べ2.1ポイント低下した。

■景気の現状判断DI 50.0 (前月比 ▲1.8)

- 家計動向関連では、前月と同水準であった。
- 企業動向関連では、前月に比べ0.5ポイント低下した。
- 雇用関連では、前月に比べ13.3ポイント低下した。

(意見の主な内容)

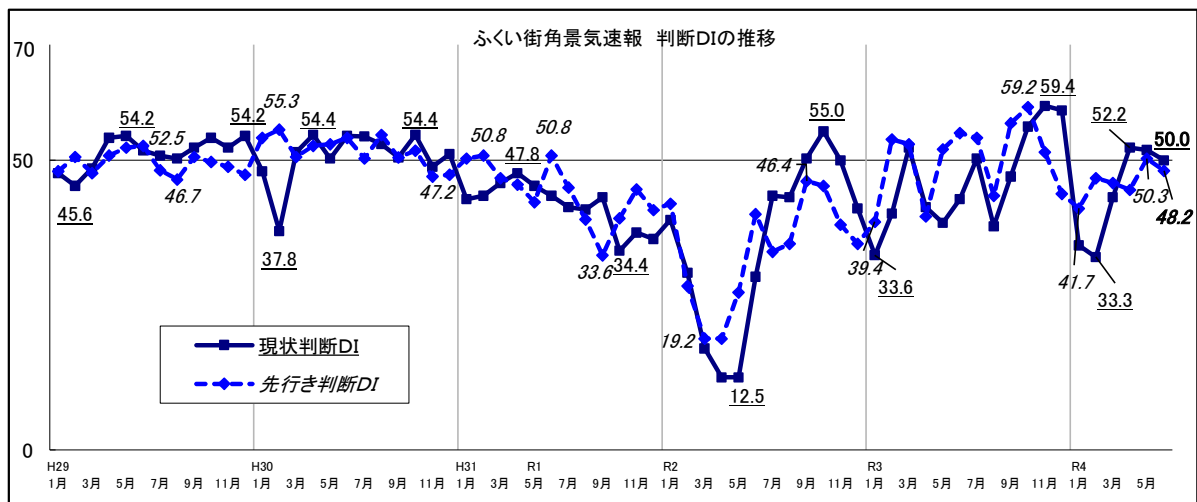
- 原料高の売価転嫁で売上額は改善傾向だが、資材等のコスト増も大きい。また、嗜好品や衝動買いも減少傾向。景気そのものは停滞している印象。(スーパー)
- 半導体不足や新型コロナウイルス、ウクライナ情勢の長期化にともなう供給制約、物流費や原材料費高騰等の影響は大きく、引き続き厳しい状況が続く。(化学・プラスチック関連)

■景気の先行き判断DI 48.2 (前月比 ▲2.1)

- 家計動向関連では、前月に比べ1.0ポイント上昇した。
- 企業動向関連では、前月に比べ5.4ポイント低下した。
- 雇用関連では、前月に比べ4.7ポイント低下した。

(意見の主な内容)

- イベントなどが復活し始め、景気が回り始めたようにも思うが、原材料の値上げで飲食店も徐々に値上げが始まっている。(飲食関連)
- 市場の動きは活性化が期待できるが、為替、仕入れのコストアップ等もあり先行き不透明。(繊維関連)



<目次>

調査の概要	1 P
1. 景気の現状判断DI	2 P
2. 景気の先行き判断DI	2 P
3. 判断理由	(1) 景気の現状判断の理由 3 P
	(2) 景気の先行き判断の理由 4 P
4. 参考	(1) 調査対象の構成 5 P
	(2) 調査票 6 P

調査の概要

1. 調査の目的

県内景気の動向や各業種の状況をより迅速に把握し、景気判断の基礎資料とする。

2. 調査の実施概要

(1) 調査の範囲

県内を福井地区、坂井地区、奥越地区、丹南地区、嶺南地区の5地区に分け、各地区で働くさまざまな業種の方、100名を調査客体とする。

地域別・分野別の客体数

地区	対象地域	調査客体数			
		合計	家計動向	企業動向	雇用情勢
福井	福井市	48	26	17	5
坂井	坂井市、あわら市	11	7	3	1
奥越	大野市、勝山市	8	6	2	0
丹南	鯖江市、越前市とその周辺部	13	2	9	2
嶺南	敦賀市、小浜市とその周辺部	20	11	5	4
	計	100	52	36	12

(2) 調査事項

- ① 3か月前と比べた景気の現状判断とその理由
- ② 2～3か月後の景気の先行き判断とその理由

(3) 調査期日等

毎月中旬～下旬に調査実施し、月末～翌月初旬に公表。

3. DI値の算出方法

5段階の判断にそれぞれ以下の点数を与え、これらに各判断の構成比(%)を乗じて、DI値を算出する。

評価	良くなっている	やや良くなっている	変わらない	やや悪くなっている	悪くなっている
点数	1	0.75	0.5	0.25	0

4. DI値について

DI値が50の場合は横ばいを示し、0に近づくほど悪化傾向、100に近づくほど好転傾向であることを示す。

0 ← 50 → 100
 悪くなっている 変わらない 良くなっている

1. 景気の現状判断DI

○県全体の現状判断DI

(DI)	年 月	R4 1	2	3	4	5	6	(前月差)
合計		35.3	33.3	43.6	52.2	51.8	50.0	▲1.8
家計動向関連		26.1	25.5	42.0	56.3	55.5	55.5	+0.0
小売		28.9	28.1	39.5	54.7	53.1	50.0	▲3.1
飲食		12.5	12.5	58.3	70.0	62.5	66.7	+4.2
サービス		20.8	20.8	45.0	54.5	58.3	64.6	+6.3
企業動向関連		44.9	40.2	43.6	45.5	45.6	45.1	▲0.5
製造業		45.2	38.0	40.4	45.0	48.0	48.1	+0.1
非製造業		43.8	46.9	52.8	46.9	38.9	37.5	▲1.4
雇用関連		45.0	45.5	50.0	54.2	54.2	40.9	▲13.3

○回答別構成比

	年 月	R4 1	2	3	4	5	6	(前月差)
良くなっている		3.3%	2.2%	1.1%	3.2%	2.1%	4.1%	+2.0
やや良くなっている		7.8%	4.4%	18.9%	28.0%	30.2%	25.8%	▲4.4
変わらない		35.6%	37.8%	44.4%	44.1%	43.8%	40.2%	▲3.6
やや悪くなっている		33.3%	35.6%	24.4%	23.7%	20.8%	25.8%	+5.0
悪くなっている		20.0%	20.0%	11.1%	1.1%	3.1%	4.1%	+1.0

2. 景気の先行き判断DI

○県全体の先行き判断DI

(DI)	年 月	R4 1	2	3	4	5	6	(前月差)
合計		41.7	46.9	46.1	44.9	50.3	48.2	▲2.1
家計動向関連		44.0	48.9	48.3	48.4	52.5	53.5	+1.0
小売		41.4	47.7	46.8	44.5	49.2	46.1	▲3.1
飲食		25.0	37.5	33.3	55.0	54.2	62.5	+8.3
サービス		54.2	54.2	57.5	56.8	60.4	68.8	+8.4
企業動向関連		36.8	43.2	41.4	39.4	47.8	42.4	▲5.4
製造業		37.5	43.0	43.3	38.0	49.0	43.3	▲5.7
非製造業		34.4	43.8	36.1	43.8	44.4	40.0	▲4.4
雇用関連		47.5	50.0	52.3	45.8	47.9	43.2	▲4.7

○回答別構成比

	年 月	R4 1	2	3	4	5	6	(前月差)
良くなる		1.1%	3.3%	2.2%	4.3%	4.2%	8.2%	+4.0
やや良くなる		12.2%	18.9%	25.6%	20.4%	24.0%	29.9%	+5.9
変わらない		48.9%	47.8%	37.8%	32.3%	44.8%	28.9%	▲15.9
やや悪くなる		27.8%	22.2%	23.3%	36.6%	22.9%	26.8%	+3.9
悪くなる		10.0%	7.8%	11.1%	6.5%	4.2%	6.2%	+2.0

3. 判断理由

(1) 景気の現状判断の理由

現状	分野	地区	業種	理由
①良くなっている	家計動向	嶺南	観光関係	新幹線などでのビジネス客の移動が活発になっているのがよく分かる。観光は徐々にだとは思いますが、良い方向に向かっているのは間違いないと思う。
②やや良くなっている	家計動向	福井	商店街	春季頃からコロナ意識が弱くなり、ようやく人の動きが見られるようになってきた。大型商業施設中心に回復傾向にある。
		嶺南	商店街	少しずつではあるが、何か事(行事)が増えてきた。リモートではなく、リアル(少人数ですが)が増えてきた。
		坂井	観光物産関係	コロナ感染者数は決して少なくはないが、対策をして人の移動が続いている。
		福井	観光関係	感染状況が少し落ち着いてきている中、人流回復が顕著となっている。県内のイベントも予定通り行われており、ビジネス以外の目的での利用も増えてきている。また、宴会等大人数の利用も少しずつではあるが増えてきている。
	企業動向	福井	繊維関連	発注が上向いている。
		丹南	食料品製造関連	観光部門の売上げがコロナ前の売上げの70%まで戻ってきた。
	雇用	福井	就職情報誌	イベントなどが3年ぶりに開催されたり、飲食店の客足が戻りつつある。
③変わらない	家計動向	福井	一般小売店	コロナの影響が落ち着いてきたので、来店客数や売上げも伸びるかと期待していたが、伸び悩んでいる。
		坂井	一般小売店	コロナは落ち着いてきたが、どこも値上がりで厳しいように感じる。
		福井	スーパー	一部の外食やレジャー産業の業績回復や、大企業の決算結果において最高益更新などの情報がある一方で、燃料費高騰や円安などから、生活関連消費が値上がりにより上昇しており消費マインドは依然低迷している。
		嶺南	スーパー	原料高の売価転嫁で売上額は改善傾向だが、資材等のコスト増も大きい。また、嗜好品や衝動買いも減少傾向。景気そのものは停滞している印象。
	企業動向	坂井	繊維関連	良くなってきている部分もあるが、為替の影響、原料の高騰等もありどちらとも言えない。
		奥越	繊維関連	製造コスト増、売上げ減少、各々の変化がない。
		福井	一般機械関連	建設機械部品製造業としての景気は、昨年度より好調が継続しており、半導体不足や上海ロックダウンによる部品供給問題やウクライナ情勢により若干の受注減少はあるものの、高水準の受注が続いている。
		丹南	電気機械関連	通信関連(中華圏等)の受注が減少、中国のロックダウン等先行きが不透明であるものの、注残動向など見て目立った変化はない。
		福井	化学・プラスチック関連	半導体不足や新型コロナウイルス、ウクライナ情勢の長期化にともなう供給制約、物流費や原材料費高騰等の影響は大きく、引き続き厳しい状況が続く。
		福井	銀行等金融関連	対面を伴う飲食・宿泊などサービス業を中心に持ち直しの動きがあった一方、上海ロックダウンの影響で半導体不足や物流の乱れもあり製造業を中心に業績に影響が生じ、幅広い業種にとって収益の下押し要因となった。
	雇用	丹南	自治体労働政策担当課	県内の新型コロナウイルス感染が落ち着き、大河ドラマに越前市ゆかりの紫式部が選ばれるなど、市内を気だす要素はあるものの、燃料高騰・物価上昇がなかなか改善されないことから、各企業も前向きな発言などが少ない。
④やや悪くなっている	家計動向	嶺南	百貨店、SC等	特別なセールの時でのお買い物が多くなり、通常時がややお客様が少ない。
		奥越	観光物産関係	市街地への来街者が減少している。
		嶺南	飲食関連	野菜や牛乳、小麦粉、電気、ガソリン代が徐々に値上がりしている。
		福井	サービス業関連	物価高の影響で買い控えを感じている。
	企業動向	丹南	眼鏡関連	原材料費や燃料費の高騰が止まらず経営を圧迫している。
		福井	運輸関連	ロシアへの経済制裁の影響か物の動きが鈍っており、取扱物量がやや減っている。
	雇用	嶺南	学校就職担当者	商品の値段が上がっているが、給料は上がらないためだんだん消費に消極的。
⑤悪くなっている	企業動向	福井	商社	円安・原油高による価格転嫁の遅れがある。

(2) 景気の先行き判断の理由

現状	分野	地区	業種	理由
①良くなる	家計動向	福井	飲食関連	県内企業のお客様の会食の予約もより増え、県民割を全国的に展開することで県外からのお客様も確実に増えていくと考えられる。
		坂井	観光関係	コロナの感染者の減少傾向と県民割などの経済喚起策が全国対象に広がることは好要因と思われる。
②やや良くなる	家計動向	福井	百貨店、SC等	コロナ渦の影響は強く、旅行ではなく近場で済ませている状況は続いていると思う。もう少し人々の動きが回復すれば、関連消費が進むと思う。都市部ほどではないが、コロナ前の景気には全く戻っていない状況が続いている。
		福井	百貨店、SC等	物価上昇の懸念はあるが、7月以降の旅行需要の回復が見込めると、改善できる可能性がある。
		福井	スーパー	為替や燃料価格の落ち着きにより、消費マインド回復による個人消費拡大に起因する景気回復の流れを期待する。
		福井	飲食関連	コロナも治まってきてる印象で、皆の意識も前向きになってきている気がする。
		福井	観光関係	現状が続いてくれば、7、8月の夏休みのレジャー・観光客流入に期待。
	企業動向	丹南	食料品製造関連	観光部門の県民割が全国に適用されるようになると、観光バスの台数が戻ってきそう。
		福井	建設・不動産関連	感染症が下火である間は景気回復が見込まれる。
雇用	嶺南	労働相談員	物価上昇などの問題点はあるが、雇止めや給料未払いなどの労働相談は数か月無く、雇用関係は安定していると言える。今後、政府も対策を講じてくると考えられることから景気は良くなる方向ではないかと考える。	
③変わらない	家計動向	福井	商店街	コロナ前と比較しても、依然厳しさは変わらない。現時点のやや回復からみると先、現状と大きく変化が期待できないと判断。
		福井	一般小売店	商品の価格改定(値上げ)が多く、売りに上げに影響してくると予想しているため、多少景気が良くなったとしても大きく変化するとは考えにくい。
		嶺南	一般小売店	物価高に対して徐々に影響が表れそう。今後仕入れ値が上がる知らせも受けている。
	企業動向	坂井	繊維関連	市場の動きは活性化が期待できるが、為替、仕入れのコストアップ等もあり先行き不透明。
		福井	一般機械関連	建設機械部品製造業としての景気は、昨年度より好調が継続しており、半導体不足や上海ロックダウンによる部品供給問題やウクライナ情勢により若干の受注減少はあるものの、高水準の受注が続く見通しとなっている。
		丹南	電気機械関連	半導体不足の長期化やコロナウイルスの感染状況(中国のロックダウン等)、ウクライナ情勢等、先行きが不透明であるものの、例年のトレンドとして季節的要因での上向きがある。
		福井	化学・プラスチック関連	フロンテックの進展や行動制限の緩和等、経済活動の正常化に向けた取り組みが進められる一方、ウクライナ情勢の混迷による食料品や日用品をはじめとした製商品の値上げが相次いでおり、当面個人消費は本格的に回復しないと思える。
雇用	福井	ジョブカフェ担当者	ロシアによるウクライナ侵攻の影響による物価の高騰や円安の影響から、急激に景気が回復するとは考えられない。	
④やや悪くなる	家計動向	嶺南	スーパー	今後も多くの商品・資材等の値上げが予定されており、消費意識は減退すると思う。
		嶺南	飲食関連	イベントなどが復活し始め、景気が回り始めたようにも思うが、原材料の値上げで飲食店も徐々に値上げが始まっている。
		福井	サービス業関連	益々あらゆるものが高くなる傾向にある。
	企業動向	丹南	繊維関連	生活物価上昇による消費マインドの低下。
		嶺南	化学・プラスチック関連	原料・資材関係の値上げのため。
		福井	運輸関連	ロシアへの経済制裁が現段階では軽くなることは考えられず、やや悪くなると考える。
雇用	福井	学校就職担当者	高校生の求人活動に関しては、本校は事務職希望者が多いが、求人数は例年より少なくなる予想をしている。	
⑤悪くなる	家計動向	福井	一般小売店	電気料金等エネルギー価格の大幅な上昇、仕入、経費のコストアップで利益確保が難しい。
	企業動向	福井	一般機械関連	受注高に対して、電装部品等を中心に仕入状況が悪化していて、生産計画に支障を来している。また、海上運賃等も高止まりしているため、収益は減少気味。

4. 参 考

(1) 調査対象の構成

調査対象		人数
家計動向関連		52
商店街、小売店		
	商店街関係者	5
	小売店経営者・従業員	7
百貨店、SC等		
	店長・売場主任	10
スーパー		
	店長・従業員	5
家電販売店		
	経営者・店長・従業員	2
コンビニエンスストア		
	店長	2
ドライブイン等		
	経営者・スタッフ	3
飲食関連		
	レストラン等経営者・店長・スタッフ	4
	居酒屋等経営者・店長・スタッフ	2
その他サービス関連		
	サービス業経営者・従業員	4
観光関係		
	旅館関係者	2
	ビジネスホテル関係者	2
	観光・レジャー施設関係者	1
	旅行代理店経営者・従業員等	2
	タクシー運転手	1
企業動向関連		36
製造業経営者・従業員		
	繊維工業	4
	眼鏡工業	3
	一般機械工業	3
	電気機械工業	3
	化学・プラスチック工業	3
	鉄鋼業	2
	伝統工芸	2
	商社	2
	食料品製造業	2
	その他製造関連	2
非製造業経営者・従業員		
	IT関連	2
	金融機関	2
	建設・不動産	3
	運輸	3
雇用関連		12
	自治体労働政策担当課	2
	労働相談員	2
	学校就職担当者	3
	ジョブカフェ担当者	2
	人材派遣会社	1
	就職情報誌編集者	2
計		100

4. 参 考

(2) 調査票

あなたの日々の仕事や仕事を通じて接するお客様の様子から分かる、あなたの身の回りの景気の状態についてご回答ください。

(企業・団体名および記入者氏名)

【質問1】

景気が上向きか下向きか、どちらの方向に向かっているかの質問です。
今月のあなたの身の回りの景気は、3か月前と比べて良くなっていると思いますか、悪くなっていると思いますか。
次の5つの中から、お選びください。

- ①良くなっている ②やや良くなっている ③変わらない
④やや悪くなっている ⑤悪くなっている

【質問2】

質問1でそのように回答した理由を教えてください。

自由回答（あなたの仕事に関してコメントをお願いします。）

【質問3】

将来の景気についての質問です。今後2～3か月先のあなたの身の回りの景気は、今月より良くなると思いますか、悪くなると思いますか。
次の5つの中から、お選びください。

- ①良くなる ②やや良くなる ③変わらない ④やや悪くなる ⑤悪くなる

【質問4】

質問3でそのように回答した理由を教えてください。

自由回答（あなたの仕事に関してコメントをお願いします。）

本書の内容についての質問は、下記にお問い合わせください。

福井市大手3丁目17-1

福井県産業労働部産業政策課経済戦略グループ

TEL 0776-20-0364 (ダイヤルイン)